

令和 7 年度 算数・数学科における指導について

西濃教育事務所 教育支援課 算数・数学担当

1 西濃地区の訪問事業の様子から

令和 6 年度は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して、授業改善への取組が推進されてきた。一方で、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を具現するためには、児童生徒が自分に合った学び方をコントロールしながら主体的に学ぶ授業づくりを一層進め、自らの目的に応じてタブレット端末や学習者用デジタル教科書等の ICT を利活用する力を育む必要がある。

研修においては、対面で熱心に協議したり、日々の不安を相談したりして、指導力を向上させようと主体的に研修に臨む教職員の姿が多く見られた。また、「授業づくり相談会」や「座談会」の希望も多く、指導案作成や日々の授業づくりについて熱心に相談される姿も多かった。一方、若手教員の割合が高く、併せて教職員の人数が少ない学校も多いため、授業づくり等についての研修や相談をさらに充実させる必要もある。

こうした現状を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びのある授業の充実、キャリアステージや自己課題を明確にした教職員一人一人の「新たな教師の学びの姿」を支えていきたいと考えている。

2 令和7年度の指導の方向

算数・数学科における資質・能力の育成を目的に、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実し、ICT が効果的に利活用される「主体的・対話的で深い学び」のある授業の実現

(1)指導と評価の一体化を図る授業改善

○ 指導に生かす評価の充実

- ・ 児童生徒による学びの実感と学習改善
- ・ 教師の指導改善、評価方法の必要性・妥当性の検証と改善

(2)育てたい資質・能力を育成する授業改善

- ・ 単元や単位時間のねらいを達成した児童生徒の姿を具体的に描いて指導する
- ・ 身に付けるべき基礎的・基本的な内容の背景にある概念や原理・法則に着目できるような、教師の発問や対話的な学びを意図的に設定し、評価する
- ・ 問題が解決された後、問題の条件や仮定を見直したり、共通する性質を見いだしたり、概念を一般化したり拡張したりするなど、統合的・発展的に考察できる活動を意図的に設定し、評価する。

(3)ICT の効果的な活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ・ 学習者用デジタル教科書の活用
- ・ NEW ! GIFU ウェブラーニングの活用

